

2019年2月20日

パルスセキュア、SDP (Software Defined Perimeter) に対応した
ハイブリッド IT 環境向けのセキュアアクセスを提供

規模を問わず、プロビジョニングの容易さ、優れた経済性をもたらす
SDP を搭載した新しい Pulse Access Suite を発表

【カリフォルニア州サンノゼ発 - 2019年2月19日 -】

ソフトウェアによるセキュアアクセスソリューションを提供するリーダーであるパルスセキュアは、本日、セキュアアクセスプラットフォームに SDP (Software Defined Perimeter: ソフトウェアで定義された安全な領域) アーキテクチャを統合し、数々の受賞歴がある Pulse Access Suite に追加することを発表しました。SDP を展開するための柔軟な道筋を提供することによって、同社はハイブリッド IT 環境のためのゼロトラストアクセスの基盤を拡張し、企業やサービスプロバイダーに、他では真似のできないプロビジョニングの容易さ、セキュリティ体制の強化、総所有コストの削減を提供します。

Enterprise Strategy Group の最新調査は以下の通り述べています。

- ・ 組織の 66%が、2年以内にクラウドデータの 30%以上が注意を要すると予想している
- ・ モバイルワーカーの 53%が、仕事で使うデバイスにセキュリティパッチをあてたり、アップデートするために、最低 1 週間を要している
- ・ パブリッククラウドにアプリケーション、ワークロードを移行した組織の 45%が、それらをコンバージドインフラストラクチャに展開

アプリケーションへのあらゆる場所からのアクセスや、動的なリソースプロビジョニングは新しい常識になりつつありますが、一方で新たな脅威と大規模なデータ侵害の危険性が高まっています。企業がデジタル変革を受け入れ、アプリケーションとインフラストラクチャをマルチクラウド環境に移行するに伴い、不正攻撃やデータ漏洩を防ぐためのアクセス要件が、より厳しく複雑になっています。そこで、企業はリスクを減らすため、アプリケーションとリソースが社内外どこに存在していても、より強固なユーザーとデバイスの認証、きめ細かいアクセス制御、強力なセグメントを認証プロセスに組み込むことで、「信頼する前に必ず検証する」というゼロトラスト戦略を適用しています。

「ビジネスリーダーは、ユーザーの生産性を向上させるためのデジタル化の推進を進める一方で、規模も頻度も増大しているデータ侵害リスクを軽減する、という課題に直面しています。パルスセキュアは創業以来、優れたユーザー体験とコンプライアンス対応双方のバランスがとれた、ゼロトラスト・セキュアアクセスへの実用的なアプローチの提供に注力してきました。そしていよいよ、SDP アーキテクチャを Pulse Access Suite に組み込むことにより、企業やサービスプロバイダーが待ち望んでいたソリューション展開における柔軟性、規模への対応、高い投資対効果を実現するにいたりました」と、パルスセキュアの CEO スダカ・ラマクリシュナは語ります。

Pulse Access Suite は、包括的な VPN、モバイルデバイス管理 (MDM)、シングルサインオン (SSO)、エンドポイントと IOT デバイスの可視化、ネットワークアクセス制御 (NAC)、仮想アプリケーションデリバリーコントローラ (ADC) 機能により、リモート、モバイル、クラウド、ネットワークおよびアプリケーションセキュリティを提供しています。

パルスセキュアの SDP は、ユーザー、デバイス、場所、行動などの異常検出を含むセキュリティ検証を済ませた後に、初めてアプリケーションやリソースへの安全な接続を提供することにより、この統合ソリューションを補完します。結果として、企業はアクセスプロビジョニングを簡素化しながら、パフォーマンスを向上させ、目に見える攻撃を減少するなど、シームレスな接続性を得ることができます。さらに大きな経済性をもたらすと同時に、必要な SDP 機能をいつ、どこで、どのよう容易に実装するか、システムを中断することなく入手することができます。

Enterprise Strategy Group のシニアプリンシパルアナリスト Jon Oltsik 氏によると、「業界では VPN のリプレースについて提案していますが、企業がクラウドに移行する際、SDP はすべてのアプリケーションやハイブリッド IT インフラストラクチャのための万能薬ではありません。展開は比較的容易で安全な接続を提供できますが、SDP プロジェクトは特定の使用例やプロジェクトに基づいている傾向があります。VPN と SDP はしばらくの間共存する可能性があるため、使い勝手の良さや管理、およびコストに注目する必要があります。データセンターとクラウドのための VPN と SDP アーキテクチャをサポートする、統合化されたセキュアな Pulse Access Suite の提供は、パルスセキュアがユーザーとサービスプロバイダーに対して、強力な価値を提供することに他なりません」

パルスセキュアの SDP は、Access Suite を強化し、以下のようなさまざまな機能とビジネス上の利点を提供します。

- ・ **デュアルモード VPN および SDP アーキテクチャ**：パブリッククラウド、プライベートクラウド、データセンターにまたがる企業ネットワークに対して、単一のセキュアアクセス管理と運用上の可視化を提供
- ・ **広範におよぶ多要素認証および承認オプション**：トランザクションの実行前および実行中に、ユーザー、デバイス、アクセスするアプリケーションすべてを確実に検証
- ・ **単一ポリシー管理**：設定エラー、ポリシーの変容、ゲートウェイの乱立を削減しながら、使い勝手の良さやセキュリティを向上させ、一貫してプロビジョニングされたセキュアな接続を実現
- ・ **状況に応じたきめ細かなアクセスの実施**：あらゆる場所からのアクセスや推奨デバイスによるオンデマンドのアプリケーションレベルのアクセスと、ビジネス要件やコンプライアンス要件を連携します。
- ・ **ユーザーエクスペリエンスの向上**：Web ポータル、アプリケーションの有効化、SSO、キャプティブポータルなど、ユーザーに容易でシームレスなアクセスオプションを提供
- ・ **対応の早いアクセス**：アプリケーション配信を高速化する独自の Optimal Gateway Selector テクノロジーで、スケーラビリティを確保するために、データプレーンとコントロールプレーンを分離
- ・ **導入の柔軟性**：オンプレミスからホスティングプロバイダーやマネージドサービスプロバイダー、プライベートあるいはパブリッククラウドへの移動や拡張が自由自在
- ・ **総所有コストの削減**：現在の投資と合致し、アクセスエコシステムによる異種リモートの統合、クラウドのアクセス制御、高額な管理費やライセンス費の回避などを実現する、統合セキュアアクセスプラットフォームの提供

可用性

パルスセキュアの SDP は、2019 年 4 月より、Pulse Access Suite の Advanced Edition および Enterprise Edition でライセンスされたコンポーネントとしてのみ提供されます。パルスセキュアのソフトウェア、ハードウェア、およびクラウドソリューション内で使用可能な SDP コントローラ、SDP クライアント、SDP ゲートウェイで構成されています。このアプローチにより、SDP と領域ベースの VPN 機能を並行して機能させることが可能になり、ゼロトラストアクセスセキュリティ、および企業やサービスプロバイダーにとって不可欠な運用上の柔軟性を提供します

簡単なソフトウェアのアップグレードで、顧客は最新のパルスセキュアインフラストラクチャを使用して SDP を有効化します。2019 年 6 月 30 日までの間、追加料金なしで現在保有されている Pulse Access Suite サブスクリプションをアップグレードまたは更新して、SDP 機能を作動することができます。SDP 機能を企業のセキュアアクセスに提供する方法、無料アップグレードの詳細については、www.pulsesecure.net/sdp をご覧ください。

パルスセキュアについて

パルスセキュアは、ヒト、デバイス、モノ、サービスを対象に、安全で信頼性の高いシームレスなアクセスソリューションを提供することに特化した会社です。ハイブリッド IT 環境で、クラウド、モバイル、アプリケーション、ネットワークアクセスを独自に統合するスイート製品を提供。国や業界を問わず、世界 20,000 社を超える企業およびサービスプロバイダーに、お使いいただいています。すべてのモバイル環境で仕事をするすべてのビジネスパーソンに対し、コンプライアンスを遵守しながら、データセンターおよびクラウド内のアプリケーションや情報に安全にアクセスする支援をしています。詳細は弊社 Web サイト (www.pulsesecure.co.jp) をご覧ください。

英語サイト：www.pulsesecure.net

日本語サイト：www.pulsesecure.co.jp

パルスセキュアについて詳しく知りたい方は、ツイッター @PulseSecure、LinkedIn、Facebook などをご確認ください。

報道機関からのお問い合わせ先：

パルスセキュアジャパン株式会社

03-6809-6836

info_jpkr@pulsesecure.net